

# ヨコモ ピークマッチドバッテリー 取扱説明書

ヨコモ ピークマッチドバッテリーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ピークマッチドバッテリーは、世界選手権等のビッグレースで幾度にも渡りチームヨコモを勝利へ導いた、世界最高峰のマッチドバッテリーです。理屈ではなく実戦で鍛えられたノウハウをもって、ヨコモ独自で開発したコンピューターシステムでセレクト、マッチドを行い、日本はもとより海外でも高い評価を得ております。又、ニューコンピューターシステムの導入で、より精度を高めたピークマッチドは、実績と信頼性でマニアの皆様のレースを支え、御満足頂けるものと確信しております。

## マッチドバッテリーの特徴

バッテリーは製造メーカーで厳しい品質検査を受けてから出荷されています。しかし R/C カーレースでは非常に大きな電流で短時間放電する為、通常の低電流放電では全く問題にならない製品の微妙なバラツキが性能に大きく影響してしまいます。しかもセル 1 本 1 本の差は少なくとも 6 本になるとその差は大きく現れます。従って、放電特性や充電特性の合った 6 本を組み合わせる事により本来の性能を十分に発揮する事が出来るのです。

マッチドバッテリーは必ずしも走行時間が長いとは限りませんが、各バックにはパワーが出るものや走行時間が長いもの等、性格が分かれています。マッチドされていないバックバッテリーは、新品の時はさほど差が出ませんが、使用回数と共にバランスが崩れ、性能が低下していきます。マッチドバッテリーでは最初の性能がかなりの回数持続させる事が出来ます。又、ヨコモ ピークマッチドバッテリーは裏面のデータ表により性格を知る事が出来、レースでの参考になると思います。

## 使用方法

### ■ ブレークイン (初期慣らし充・放電)

ピークマッチドバッテリーは、チェック前に完全なブレークインを行っています。1 ヶ月以上放置した場合等は、4.5A で充電し、5A 位で放電をするブレークインを 1 回、使用 3 日程前に行くと性能を最大限発揮する事が出来ます。

### ■ 充電

充電は必ず放電してある状態から行って下さい。残量があるまま充電すると、放電末期にパワーダウンして走行時間が短くなります。充電電流は、RC3000HV バッテリーの場合 4.5A を推奨します。デルタピークカット電圧を設定できる場合は、10 ~ 20mV/セルに設定して下さい。充電方法は一度ピークを出し、40 ~ 60 分程度放置します。そして使用 10 分前位に、同じ電流でバッテリーが少し暖くなるまで再充電して使用します。(充電はワニ口クリップ等を使わず、コネクターを使用した方が確実に充電出来ます。)

### ■ 放電

バッテリー使用後は、安全の為にも必ず放電をしてから保管するようにして下さい。放電は電流は 10A 以下で、5V 程度になるまで行って下さい。

## 使用上の注意事項



- 充電はニッケル水素電池専用充電器、又はニッケル水素電池対応機能付充電器を使用して下さい。
- +、- を逆にしないで下さい。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に直接接続しないで下さい。
- ラジコン専用電池です。ラジコン用途以外の機器で使用しないで下さい。
- 火中に投入、加熱、変形、分解、改造はしないで下さい。
- ショートさせないで下さい。金属製の針金、ネックレス、ヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないで下さい。
- 正極端子 (プラス側) には内部ガスを放出する機能を有するガス排出弁を備えています。従って、正極端子の部分を変形させたり、ガス排出弁を塞がないで下さい。
- 電池の液が目に入った時は、すぐに水道水等のきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 電池を機器に組み込んだり、ケースに収納する場合は、機器及びケースを機密構造にしないで下さい。機器やケースを破損させたり、身体に障害をあたえる原因となります。



- 水や海水等につけたり濡らさないで下さい。
- 外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。
- 所定の充電時間を超過しても充電が完了しない場合、充電を止めて下さい。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した時は、直ぐに水道水等のきれいな水で充分洗い流して下さい。
- 電池の漏液、変色、変形、その他の異常に気が付いた時は、使用しないで下さい。
- 6 セル以上直列に接続しないで下さい。



- 使用機器に接続した状態で長時間放置しないで下さい。ご使用後は機器のスイッチを必ず切ってください。
- 電池を使用しない場合、使用機器から電池を取り外して、-20 ~ 30 度の温度の少ない場所で保管して下さい。
- 充電は、0 ~ 40 度の環境温度下で行って下さい。
- 直射日光の強い所や、炎天下の車内やストーブの前面等の高温の場所で使用、放置しないで下さい。
- 電池温度が 0 度以下の場合、充電しないで下さい。
- お買い上げ後、初めてご使用の場合に、サビや発熱、その他異常と思われる時は、使用しないで下さい。
- お買い上げ後、この電池を初めてご使用の場合や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 小児がご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を充分にお教え下さい。また、使用の途中においても、取扱説明書の方法で使用されているかどうかご注意下さい。
- 充電状態の異なる電池、新旧の電池、乾電池、種類、放電容量、銘柄の異なる電池を混用しないで下さい。
- 複数のセルを組み合わせて使用する時は、同時に充電してご使用下さい。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないで下さい。
- ニッケル・水素電池専用充電器で、降下電圧の設定が可能なデルタピーク型充電器を使用する場合は、降下電圧を 10 ~ 20mV/セル以下に設定し、充電して下さい。
- ニッケル水素電池専用充電器で、充電電流値の設定が可能な場合は、充電電流値を 4.5 A 以下に設定し、充電して下さい。
- 充電中は必ずバッテリーをクーリングファンなどで冷却して下さい。
- 充電中は異常がないか常に確認して下さい。万一、充電中に異常を感じたら直ぐに充電を中止して下さい。